

岩手県職労

月2回刊=1458号
2016年4月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

人生子報、晴れたり曇ったり

雨の日だってあるのが人生。仲間同士の助け合いで備えましょう。入院は日帰りからお支払い、ケガのときは通院だけでも保障。5大成人病の入院も手厚くカバー。◆お問い合せ・お申し込みは組合へ

じちろうの団体生命共済

全労協 自治労共済本部



中央執行委員長
小野 演彦

新年度を迎えるに当たり、中央執行委員会を代表してあいさつ申し上げます。

東日本震災からの復興業務が最盛期を迎え、さらに国体本番が間近に迫っています。当局は復興完遂と国体成功に向け職員に檄を飛ばしていますが、人員不足や業務量の増大で多くの組合員が悲鳴を上げています。欠員が140人を超えるなか、職場では全く余裕がなく、サービス残業が横行しています。このような状況は私たちが安心して働き続けられる職場環境とは程遠いものです。人員確保を中心に職場改善が喫緊の課題となっています。

新年度を迎えて 職場・社会を自らの手で改善 するため『県職労』に結集しよう!

これら賃金・職場改善には現場の実態から要求として積み上げ、粘り強く改善を要求し続けることが重要です。これまで以上に組合員一人ひとりの結集をお願いします。

政治では「戦争できる国」に突き進み、憲法改悪をめざす安倍政権の暴走を止めなければなりません。私たちの求める真の地方自治確立のために4月大船渡市議選では組織内「平田ミイ子」、7月参院選では自治労組織内・社民党党首「吉田ただとも」の勝利に向け、支持拡大に全力を挙げることがあります。

勤務意欲が確保できない。賃金改善が不可欠であり、通勤手当などの自己負担解消と併せ、継続課題として取り組むことが必要です。

政治では「戦争できる国」に突き進み、憲法改悪をめざす安倍政権の暴走を止めなければなりません。私たちの求める真の地方自治確立のために4月大船渡市議選では組織内「平田ミイ子」、7月参院選では自治労組織内・社民党党首「吉田ただとも」の勝利に向け、支持拡大に全力を挙げることがあります。

これらの運動の前進には、強固な組織の構築が必要です。新年度となり多くの新採用職員が各職場に配属されました。積極的な声掛けにより、1日でも早い加入を実現するように各支部・分会で取り組みましょう。

私たちを取り巻く状況は厳しさを増しています。が、職場・社会を自らの手で改善していくためにも、改めて県職労への結集をお願いし、新年度を迎えるに当たってのあいさついたします。

2016春闘

課題認めるも不満回答

公務員 春の段階での到達点と受け止める

人勤期・定期期に向け闘争体制を継続

公務員連絡会（議長：石原信雄国公総連会長）は、3月24日、政府及び人事院と交渉し、賃金・労働条件改善に向けて見解を質した。政府・人事院は意見を聞く姿勢を示しつつも、要求に明確に応えていないことから人事院勧告期、確定闘争期に向け闘争体制を継続・強化する声明を発表し、春の段階での交渉を終えた。



対政府（右）交渉に臨む公務員連絡会（左）

公務員連絡会は、3月17日の闘争やマ場となる人事院局長級クラスの交渉を経て、3月24日に春の段階で最終となる一宮人事院総裁、河野国家公務員制度担当大臣と交渉を行った。

人事院交渉では、賃金改定に関し、今後行う民間給与実態調査を踏まえ、適切に対処すると回答、今春闘での賃上げ動向が重要となることを示唆した。配偶者の扶養手当に関しては、今年の勧告に向け、民間企業における家族手当の見直し動向等を注視しつつ、扶養手当の支給要件を検討すると回答したため、今後人事院の検討状況を注視していく必要がある。その他の要求事項も現状認識を示すにとどまる回答であったため、石原議長から職員の処

遇改善に向け積極的な対応を強く求めた。

河野大臣との交渉でも賃金改善、非常勤職員の処遇改善、ワーク・ライフバランスの推進などの基本姿勢を示すにとどまったことから、石原議長から「賃上げによる処遇改善が良質な公務員共サービスにつながる」と

北上市議選 「平野」・「星」ともに笑顔 推薦2候補激戦を勝ち抜く

3月20日告示・27日投開票が行われた北上市議会議員選挙は、26人の定数に対し27人が立候補し、まさに少数激戦となった。県職労が推薦した「平野あきり」（48歳・新人、北上市職労、自治労組織内）は1965票、「星あつこ」（57歳・現職、3期、社民党公認）は1733票を獲得し、2候補とも上位での当選を果たした。

両候補の勝利に向け、取り組みにご協力をいただいた組合員の皆さんに改めて感謝申し上げます。

この勝利を4月大船渡市議選での平田ミイ子（組織内）、7月参議院選での吉田ただとも（社民党党首・自治労組織内）の勝利に繋げていこう。



支持者から花束を受けとり笑顔の平野さん（右）と星さん（左）

大船渡市議会議員選挙 4月17日告示・24日投票

平田ミイ子の当選めざす!!

最後まで友人・知人等への支持拡大を!!



ほっとする街 おおふなと 《ひらたみいこのお約束》

- ◆女性の力が発揮できる環境づくり
- ◆誰もが住みやすく安心して暮らせる街づくり
- ◆平和で安心な暮らしの実現と格差のない社会づくり

第五世代

16春闘が佳境を迎えている。4月1日連合が発表した賃上げの妥結状況では大手企業を中心に3年連続ベアアップは勝ち取ることができず、安倍政権が推し進める官製春闘とアベノミクスが失策であることが明らかとなった。しかし安倍首相は依然として「一億総活躍社会」の実現を鼓舞し、国民の目先を変える一方で、来年4月の消費増税の是非を問うことを名目に7月に衆参ダブル選挙を虎視眈々と狙っている。安倍首相は昨年12月に消費増税10%の延期を巡り、衆議院を解散し、総選挙により大勝利を得た。その数の力を背景に、集団的自衛権行使容認の解釈改憲、戦争法の強行採決を推し進めた。今回も自身の経済対策の失策を隠し、衆参ダブル選挙で数の力を得た上で、憲法改悪に踏み切るのではと思慮されている。起ころべくして起きた経済の停滞で安倍政権の化けの皮が剥がれてきた。これ以上騙されることなく、政治を私たちの手に取り戻し、平和で安心して暮らせる社会を守るため、7月には国民の総意で安倍政権にNOを突き付けていこう。

「戦争法」の施行に抗議!

3・29緊急行動で、廃止を訴える

昨年9月19日、安倍自公政権が、多くの国民の反対を押し切って、違憲とされる集団的自衛権の行使を可能にする「平和安全保障関連法」「戦争法」を強行可

決・成立させた。この法律は、公布後6カ月以内に施行するとされ、その施行日が3月29日とされていた。こういつた「戦争法」のできる国に突き進む安倍政権

の暴走をくい止めるため、「戦争法」の廃止を求める2000万人統一署名」が全国規模で取り組まれており、改めて「法施行」に抗議し、戦争法廃止を岩手から発信していく必要がある。このため3月29日夕方に、戦争法施行に抗議し、廃止を訴える緊急デモ行進が行われ、労働組合や市民団体など約350人が結集し、県職労からも11人が参加した。デモ行進では「野党は共闘」「憲法9条活かし戦争法廃止」などとシュプレヒコールをあげ訴えた。



「戦争法」施行に抗議し廃止を訴える緊急行動デモ

人事異動等で住所が変わったら忘れずに「住所変更」手続きを!

県職労では独自の共済制度として「総合共済」制度を設けており、組合員全員が給付対象者になっていきます。(準組合員含む)

り、対象となる住宅を明確にするため正確な住所登録が必要となります。万が一の場合に住宅災害給付を受けるためにも、住宅が変わった場合は住所変更の手続きを忘れずに

とします。ただし、申し出により赴任地の居住場所を生活の本拠として登録することもできます。届出用紙は支部書記局にありますので、できるだけ早目の手続きをお願いします。

戦争法の廃止を求める統一署名

2015年9月19日「参院通過」された「平和安全保障関連法」は、憲法9条が定めた集団的自衛権の行使を可能にするもので、憲法違反であることは明らかなです。したがって、「平和安全」を掲げた安倍政権は、国民の反対を押し切って、違憲とされる集団的自衛権の行使を可能にする「戦争法」を強行可決・成立させた。この法律は、公布後6カ月以内に施行するとされ、その施行日が3月29日とされていた。こういつた「戦争法」のできる国に突き進む安倍政権の暴走をくい止めるため、「戦争法」の廃止を求める2000万人統一署名」が全国規模で取り組まれており、改めて「法施行」に抗議し、戦争法廃止を岩手から発信していく必要がある。このため3月29日夕方に、戦争法施行に抗議し、廃止を訴える緊急デモ行進が行われ、労働組合や市民団体など約350人が結集し、県職労からも11人が参加した。デモ行進では「野党は共闘」「憲法9条活かし戦争法廃止」などとシュプレヒコールをあげ訴えた。

【署名事項】
 一、廃止である「平和安全保障関連法」を早急に取り消すこと。
 二、万が一の事態に備え、憲法9条を堅持し、いかにして守るべきか。

【署名欄】

氏名	住所	印

【署名欄】

氏名	住所	印

- 目標 組合員×5筆以上
 - 取組み期限 4月15日(金)
 - 集約日 4月22日(金)
- ※組合員はじめ、多くの職員のご協力をお願いします。

第87回メーデー 5月1日 各地で開催 家族で仲間で参加しよう!



県職労の参加者 (第86回メーデー)

「第87回メーデー」は、「支え合い 助け合う・心ひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう!」をスローガンに5月1日に開催される。今年は日曜日開催で、県中央集会は午前10時30分から「盛岡城跡公園」を会場に開催される。恒例の「仮装」「プラカード・デコレーション」審査や抽選会なども行われる予定で、職場の仲間はもちろん、ぜひ家族でも参加しよう。

メーデーの始まり
 8時間は労働に、8時間は眠りに、そしてあとの8時間はわれわれの自由!」
 メーデーは1886年5月1日に米国の労働者が8時間労働日を求めてゼネストに立ち上がったのを起源とする。当時、米国の労働者は低賃金と長時間労働に苦しめられ、労働時間の短縮は切実な要求であった。第1回国際メーデーは1890年にスタートした。日本では1920年5月2日の日曜日に第1回メーデーが東京・上野公園で開催され、集まったおよそ1万人の労働者らが、8時間労働制や最低賃金の制定などを訴えた。翌年には1日開催となり、開催地や参加人数も増えていった。しかし、1936年に起きた「二二六事件」で戒厳令が敷かれ、太平洋戦争が終る45年までメーデーが開催されることはなかった。終戦翌年の46年に復活した戦後初めてのメーデーでは「働けるだけ食わせる」がスローガンに掲げられ、全国で100万人が参加、盛大に開催された。



社民党党首・参議院議員(比例代表)・自治労組織内

吉田 忠智

参院選闘争勝利
 民意に寄り添う 許さず
 私たちの代弁者

吉田忠智 検索 www.tadatomo-yoshida.jp



「第86回メーデー」でのデモ行進

入ってもいいですか?

新入組合員のみならず、はじめまして。私たちは、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営んでいます。ご加入いただき、一緒に「助け合い」の輪を広げていきましょう。

どうぞ、どうぞ遠慮なく じちろうの共済へ。

公共サービスに携わる、全国の仲間が集う助け合いの共済です

●安心のラインナップ

総合(慶弔)共済基本型・追加型 / 団体生命共済 / じちろうマイカー共済 / 火災共済・自然災害共済 / 長期共済・税制適格年金 / 親子共済

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

●詳しくは所属する組合までお問い合わせ・お申し込みください